

林正樹 + 須川崇志

piano contrabass

2016 08月13日(土)

開場 19:30
開演 20:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 2800円 + 2drinks order

CAFE **BEULMANS**

お問い合わせ: info.cafebeulmans@gmail.com

TEL: 03-3484-0047

世田谷区成城6-16-5 カロザ成城2F

イベント日以外 営業時間

cafe time 15:00 -

bar time 19:00 -

火曜日・日曜日定休 イベント日以外

メールでのご予約の場合、必ず当日ご連絡がとれる電話番号をご記載ください。



林正樹

1978年東京生まれ。少年期より独学で音楽理論を学び、その後、佐藤允彦らに師事。ジャズピアノや作編曲などを習得。大学在学中の1997年12月に、伊藤多喜雄&TakioBandの南米ツアーに参加。音楽家としてのキャリアをスタートさせる。現在は自作曲を中心とするソロでの演奏や、生音でのアンサンブルをコンセプトとした「間を奏でる」、田中信正とのピアノ連弾「のぶまさき」などの自己のプロジェクトの他に、「渡辺貞夫クインテット」「菊地成孔とペペ・トルメント・アスカラル」

「Salle Gaveau」「Blue Note Tokyo All Star Jazz Orchestra」など多数のユニットに在籍。演奏家としては、長谷川きよし、小野リサ、椎名林檎、古澤麻、小松亮太、中西俊博、伊藤君子をはじめ、多方面のアーティストと共演。多種多様な音楽的要素を内包した、独自の諧謔を孕んだ静的なソングライティングと繊細な演奏が高次で融合するスタイルは、国内外で高い評価を獲得している。2015年9月「SPIRAL RECORDS」より「コンポーズ」を主眼に置いたソロ・アルバム、「Pendulum」をリリース。

須川崇志

1982年2月生、群馬県伊勢崎市出身。11歳の頃にチェロを弾き始め、18歳でジャズベースを独学で始める。2001年に日本大学文理学部を中退、その後奨学金を得てアメリカへ渡り、パークリー音楽大学にてJohn Lockwood氏にベースを師事する。2006年に同大学を卒業。同年夏、自己のトリオを結成、日本国内14カ所をツアーする。2007年に活動拠点をニューヨークに移す。同年7月、Jake Hertzog (g)のカルテットでスイスのモントルージャズフェスティバルに出演。2008年9月に日本へ帰国し、現在は東京在住。辛島文雄トリオを経て、2010年3月から日野皓正カルテットのメンバーとなり、アルバムレコーディングに参加。2011年には八木美知依ダブルトリオ(MYDT)でドイツのメルスフェスティバル、日野皓正AFTERSHOCKバンドで東京ジャズに出演。他の共演者に、Peter Brotzmann、峰厚介、本田珠也、太田恵資、Mike Nock、Todd Nicholson、伊藤君子、山中千尋、Gene Jackson等。